

会 議 議 事 録

会 議 名	平成 29 年度 第 1 回 教育課程編成委員会	専門学校 東京工科自動車大学校 専門学校 東京工科自動車大学校世田谷校 専門学校 東京工科自動車大学校品川校
開催日時	平成 29 年 5 月 29 日 (火) 15:00 ~ 17:00	
会 場	東京テクニカルカレッジ B1 テラホール	
参 加 者	委員	18 人 (参加者) ・佐藤 康夫 (全体会議長)、 ◇1 級教育課程分科会 ・松村 道隆 (1 級分科会議長) ・甲斐 俊和 ・齋藤 昭男 ・酒井 彦樹 ・宮谷 真樹 ・山口 泰之 ・井上 真一 ・園田 幸祐 ◇2 級教育課程分科会 ・小林 完 (2 級分科会議長) ・五十嵐 純二 ・佐久間 三郎 ・坂本 康将 ・田村 智 ・油井 文江 ・竹尾 和也 ・澁谷 健 (欠席者) ・三橋 健一
	事務局	1 人 横山 重明
配布資料	全体会 全体会配布資料 ・資料 A・・・委員名簿 ・資料 B・・・前回議事録 ・資料 C・・・全体会説明資料 (パワーポイント) ・資料 D・・・アドミッションポリシー(4 年課程、2 年課程、夜間課程) ◇出席者・配布資料確認 (事務局) 1. 開会挨拶 (全体会議長) 議長より平成 29 年度の本会議開催に向けて以下の説明・報告がなされた ・職業実践専門課程の概要。専門職業大学の概要。高校における進路指導方針。 ・平成 28 年度事業報告 学生募集：全体としては昨年度を上回った。要因に留学生の増加がある。	
全体会 会 議 録		

<p>審議事項</p>	<p>就職：好調に推移した（8月末時点で中野 88%、世田谷 95%、品川 88%）。 資格（一級）：出題傾向が変わり全国的に厳しい結果の中、二校共平均を上回った。</p> <p>2. 議事</p> <p>①委員の確認（事務局） 昨年度メンバーに加え、本年度より新たに加わった委員の紹介があった。 ⇒ 全員一致で承認</p> <p>②前回議事録（H28 年度第 2 回教育課程編成委員会）の確認（澁谷委員） ⇒ 全員一致で承認</p> <p>③小山学園としての取り組みについて 以下の項目について、資料により山口委員より説明があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三つのポリシー策定の目的と経緯説明 ・アドミッションポリシー策定の考え方と内容 ・ディプロマポリシー、カリキュラムポリシー策定に向けた今後の進め方
<p>1 級分科会 配付資料</p>	<p style="text-align: center;">————— 1 級教育課程分科会 —————</p> <p style="text-align: center;">分科会配布資料</p> <p>資料：4 年課程アドミッションポリシー、ディプロマポリシーアンケート、自動車新技術教科書の目次</p>
<p>1 級分科会 会議録</p>	<p>1. アドミッションポリシーに関する質疑応答</p> <p>松村議長より、4 年課程のアドミッションポリシーの資料が配布されそれぞれの委員の方に意見を聞いた。以下の意見が出された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高度専門技術というものがどういう者か高校生に理解させるのが難しいのでは。 <p>→オープンキャンパスや高校訪問の時に、2 級と 1 級の違いを説明しているので、イメージできると考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在校生の声を反映した内容になっているか。どんな能力を伸ばしたいと思っ <p>て 入学したのかを聞いた方が良いのでは。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職人を求めているような内容になっているが、現場では接客ができる人材を求めている。就職をしてから接客の必要性を知ることになるので、それを意識できる項目があっても良いのでは。 ・「学校を休まない」という理由だけで入学を決めてよいのか疑問。 <p>→アドミッションポリシーは今後も見直しを行うので、今後の検討課題としたい。</p>

2. ディプロマポリシー策定に向けての意見集約

議長により、1級課程のディプロマポリシーについて、最低限身に付けてもらいたいこと(LowerLEVEL)、身に付けることが望ましいこと(UpperLEVEL)について資料を配布し意見をいただいた。以下の意見が出された。

- ・入社3年目を越えた卒業生に調査したほうが良いのではないか。
- ・回路の計算ができない。社会人と学生との学ぶ姿勢の違いが判らない。点検整備、工具の使い方などの基本を身に付けてほしい。
- ・入社時点で試験を行っているが2級課程の卒業生の方が成績が良い。2級レベルの事を忘れてしまっている。
- ・安全行動を身に付けてほしい。
- ・ミスをしないうちを植え付けてほしい。
- ・こういうことをしたらどうなるかというような想像力を働かせることができればよい。
- ・車検・点検ができる。アドバイスができる。
- ・電気を完全に理解していることが望まれる。
- ・12か月法定点検の項目を覚えていることが必要。(作業ができるかどうかより項目内容を理解していることが重要)
- ・正常・異常の判定ができる。

→その他、アンケートを実施し意見収集を行った。

意見としては、

「電気回路」「法定点検」「安全作業」の知識の修得を望む声が多かった。

ディプロマポリシーについての貴重な意見をいただいた。

3. その他 ～ 次世代自動車の新技術教育について ～

議長より1級課程の教科書「自動車新技術」の内容が現状では古くなっており、学校としては企業と連携し、新技術に関する知識や技術を3,4年生に展開したい。企業内教育で行っているような研修を学校で行っていただけはないか。出来るとするならばどういう教育ができるかの質問がなされた。

会議終了時間が近付いているため、学校からFAX等でこの件に関するアンケートを委員の方に送り、次回意見交換を行うこととなった。

その他連絡事項を行い、分科会を終了した。

2級分科会
配布資料

2級分科会
会議録

2級教育課程分科会

分科会配布資料

資料：アドミッションポリシー、ディプロマポリシーアンケート、プロジェクトセミナー主旨説明文、プロジェクトセミナー評価結果一覧

1. アドミッションポリシーに関する質疑・意見

- ・現在在学中の学生にこのポリシーは当てはまるのか？
→本ポリシーは教職員がもつ当校の学生のイメージを集約し明文化したものであり、項目の何れかが当てはまると認識している
- ・一級課程ポリシーにあるリーダー志向は職場の一級課程卒業生と合致する。
- ・若干レベルが高めの高校生向けに感じる。少し行儀が良すぎる気がする。
- ・スペシャリスト、マニアックと言ったもっと訴求力がある言葉があっても良いのではないか？

→アドミッションポリシーは今後も見直しを重ねる。今後の検討課題としたい

2. ディプロマポリシー策定に向けての意見集約

- ・教員の経験年数はどのくらいか？
→ここ数年で新任も入ったが、15年前後が多い
- ・教員経験が長くなると現場とのズレが大きくなるのでは？
- ・教員の企業実習の様な機会はあるのか？
→メーカー等の技術研修は受講するが、職場の体験は現状機会がない。
- ・教員からアンケートを取る際、なぜそう思うか（根拠）を問うと後の項目整理をする際に有効である

以上の意見を踏まえ、学校はこの内容を整理し、今後の改善課題として取り組むことで全委員の承認を得た。

3. その他 ～ プロジェクトセミナーの評価結果について ～

H28年度最終評価結果の資料配布および評価方法の概要説明を行い、次回意見交換を行うこととなった。

その他連絡事項を行い、分科会を終了した。

事務局連絡

◇次回会議日程

平成29年 10月 6日（金） 15：00～17：00

会議風景

<全体会>



<1級課程分科会>



<2級課程分科会>

